

第9回きみまち恋文全国コンテスト

がん 癌と闘う壮絶な現場へ向かった 彼に贈る応援のメッセージ

2月17日に行われた第9回きみまち恋文全国コンテストの最終審査会で東京都の山口玲子さん(31歳)の作品が見事「きみまち恋文大賞」に選ばれました。「きみまち恋文祭」は27日午後3時から福祉会館で行い、大賞・優秀賞受賞者や作品の紹介をします。多くのみなさんのご来場をお待ちしています。入賞作品集「日本一心のこもった恋文」は、4月10日、恒文社より出版されます。

きみまち恋文大賞 山口玲子さん (東京都・31歳)



受賞の言葉

とても驚いています。この手紙を通して医師という職業がどれだけ激務かを、そしてきれいなことでは済まされない現場をお伝えしたかったのです。医師も人間である以上、弱さやもろさがあり、それを支え待つ家族、友人、恋人がいる事を。患者さんを深夜まで診る医師にも与えられるべく普通の暮らしがある事を。

医師を待つ人間には、悔しさを語る事は許されません。何時だろうと、どんなに寂しくても「行かないで」という気持ちをのどに押し込むほかないのです。表面化されないそんな人達の気持ち、どうぞこんであげて下さい。

最後に、この手紙を赤子の様に取り上げ、光を与えて下さった皆様、本当にありがとうございます。

また、私にいつも無償の愛を注いでくれる最愛の夫、家族、勇気をくれた友人、そして幼い頃初めて鉛筆を与えてくれ、綴る事の大切さを教えてくれた両親に、この場を借りて深く感謝します。

大賞受賞作品

「毎日貴方の名を呼んでいます」

元氣ですか。

そちらの病院はどうですか。初めて顔を合わせた時の、まだ執刀の経験すらない貴方の初々しい笑顔が昨日の事のようです。患者さんには勿論、スタッフにも本当におおらかに接し、仕事を終えると黙々と勉強していた貴方がとても好きでした。貴方が知識と技術に磨きをかけ、その腕が認められ癌の専門病院へ配属になると知った時、私もとても嬉しかった。でもその反面、今よりも確実に忙しくなり、癌と向き合う人々と接してゆくと察したら、怖くなりました。その中に飛び込んでゆく貴方が変わらない事を祈って待っていました。いつからでしょう。貴方の手紙に「忙しい」という文字が綴られる様になったのは、「手術と急変が重なり…会えませんが」レポート用紙の切れ端に走り書きされた字を見て、改めて貴方が壮絶な現場に置かれていると悟りました。私は、諦めるしかなかった。

でも、手術と回診の合間をぬって最後に会ってくれた時、凄く嬉しかったです。走って病院へ戻る凍りついた貴方の後姿は、もう新人ではなく、一人の立派な医師でした。患者の元へ帰る貴方を引き留められない悔しさも、やり切れない想いも、心地よい諦めで満たされたのは、あの時です。

こんな私も、今は幼子を持つ身になりました。ずっと貴方に秘密にしておくつもりでしたが、私の手を引く幼子の名は貴方と同じです。私には、貴方の心を奪う事が出来なかった。だから、せめて、貴方の名前が欲しかったのです。

どうか許して下さい。

貴方の知らない所で、貴方の名を呼ぶ私を許して下さい。もう、会う事はないけれど、癌という難病と闘う貴方をここから応援しています。そして、貴方の施した手術によって一人でも多くの人達の生が永らえる事を祈っています。

この手紙が、いつか貴方に届くと信じて。

新人の医師からベテランの医師へ成長を遂げた彼を見届けた十年間、想像以上の激務は彼を変え、連れ去ってしまった。私から彼へ最後に捧げる手紙です。

審査員選評 (抜粋)



2月17日、「東京グリーンパレス」で行われた最終審査会の様子

内館 牧子

あまりの迫力に、選考委員の方がおじけづき、「これ、本名出しても大丈夫なの？」、「文句なしの大賞だけれど、本人の了解を取ってからだな」と、かなりの騒動になりました。山口さんはごく自然に了解して下さいましたが、他がかすむほど庄巻な恋文でした。

西木 正明

他人行儀とは無縁の、心の奥底にある思いのたけを綴ったものだった。いい意味での毒とスリルに富んだ

内容は、選考の場でこれを大賞にした場合のリアクシヨンについてまで議論されたほどだった。

島森 路子

女は案外、平気でこんなことをしている、しかねない生き物ですが、しかし、こんな秘密が公になっ
ていいのか、審査委員一同大いに悩んだ結果の大賞決定となりました。恋や愛に弱いのも女、けれど、恋や愛に強いのも女、でしょうか。

佐藤 嘉尚

現在のご主人の立場をおもんぱかると少しコワイ感じもするが、大賛成。そういうスリリングなところが迫力になっているのだから、でもやっぱりコワイ。

篠内 敬司

審査会ではさまざまの受けとめ方の出会いや発掘があった。山口玲子さんの「毎日貴方の名を呼んでいます」と遠藤亜希子さんの「おめでとつ」が、最後まで大賞をせり合った。

入賞された方々

敬称略

きみまち恋文大賞

「毎日貴方の名を呼んでいます」

山口玲子 東京都

きみまち恋文優秀賞

遠藤亜希子 群馬県

今野節子 宮城県

武田 悠 福岡県

玉置順一 兵庫県

オスアラしのぶ 東京都

小島ひろ美 大阪府

森井章太郎 奈良県

村田稔彦 京都府

関屋真衣子 大阪府

尼野千鶴子 大阪府

佳作

北海道 二木元子 / 佐久間舞 / 中

村正之 / 立花則子 / 藤川郁 / 柏葉

いづみ

青森県 福原大壽

岩手県 黒田弘江 / 石山尚子

宮城県 多田文恵 / 及川尚子 / 渡

辺りつ子

秋田県 戸上平 / 高岡由実 / 鎌田

舞子 / 田口瑠美 / 小山内奈美 / 須

藤美幸 / 畠山聖香 / 蛇川実花 / 佐

藤弘子 / 高橋智美 / 笠木田鶴子 /

雄鹿悦子 / 佐藤亜子 / 大沢要 / 相

馬利美子

栃木県 田中稔

群馬県 志村恵子

埼玉県 鳥瀧詔子 / 折原孝子 / 天

沼千晶

千葉県 河野ひさ江 / 岩下せい子

東京都 木村恵理子 / 谷村タカコ

/ 安部智子 / 佐藤杏寿 / 植原有香

/ 徳永明子 / 西脇恵美 / 桂明佳

神奈川県 名越祥子 / 小松茂生 /

安田幸子

新潟県 永田愛美

富山県 坂田吏永子

長野県 柳沢千秋 / 田中章代

岐阜県 鷺見朋美 / 河合ふみ乃 /

林忍

静岡県 影山葉子 / 水穴さつき

愛知県 榎谷元喜 / 江本里美 / 池

元静香 / 浅野憲治 / 城千穂子

三重県 新井景子 / 友井美保

京都府 中村咲紀子 / 川上恵 / 沖

田侑己 / 浦川滋子 / 南真理子

大阪府 新美敦子 / 東敬朗 / 西木

麻華 / 片島浩子 / 吉岡一泰 / 佐々

木裕子 / 小神子真澄 / 宮田祐衣 /

暁寮子 / 米沢扶美子

兵庫県 清原まどか / 河野博文

奈良県 西川和陽

和歌山県 細尾良子

鳥取県 森脇美保子

岡山県 斎場絢子

広島県 進藤なな

香川県 吉田真理

福岡県 目原かよ / 野原由佳

長崎県 下野邦子

熊本県 米田幸恵

沖縄県 中村渠博美

中国 張辰星